



# 活動報告書

一般社団法人 わんぱくSMILE松島園

## テーマ「感覚（視覚）」

パペットやぬいぐるみは、子どもたちにとって大切な遊びの相棒の一つです。戸外でたくさん体を動かして遊んだ子どもたちは、室内でほっと一息をつきながら、クッションにもたれたり、ぬいぐるみを相手にごっこ遊びを楽しんだりしています。子どもたちはパペットの表情や動きなどを目で見て感じ取りながら、想像を膨らませて遊びを広げていきます。いつも親しんでいるパペットを使って遊びを組み合わせることで、視覚的に感じたことをきっかけに、言葉でのやり取りや感情の表現にも興味が広がります。



11月

- ・遊びの中で様々なパペット、人形、縫いぐるみを使い遊びを探究する。
- ・お気に入りの縫いぐるみで遊びを発展させる。

12月

- ・クリスマス会では、遊んでいたパペットを使い保育者や保護者がハンドベル演奏をし、見て聴いて楽しむ。

# 使用したものの・環境の設定



パペット・縫いぐるみ・人形・動物のおもちゃなど子どもの興味に合わせておままごとやブロックも用意した。

# 活動内容



## STEP1 お気に入りのパペットや人形で遊んでみよう！

様々なパペットや、縫いぐるみ、動物のおもちゃなどに触れ感触やごっこ遊びを楽しみました。中には動物を動かしながら子ども同士の会話が広がります。お気に入りの縫いぐるみやおもちゃがあるだけで子どもの関わりがたくさん見られます。

## STEP2 お気に入りのパペットを動かし、より愛着を持って楽しもう！

人形を動かしながらたくさんの会話や言葉が聞かれました。「今赤ちゃんにミルクあげてるの」「今寝てるから静かにね」など気分は保育園の先生です。中には「お腹すいたよー。ごはんくださーい。」とパペットになりきって楽しんでいる子もいました。



## STEP3 見て、聴いて楽しもう！

普段遊んでいるパペットがクリスマス会のハンドベル演奏で登場！ハンドベル演奏がより楽しく子どもも興味津々。



# 振り返り

日々の保育の中で親しんできたパペットを活用し、クリスマス会では保護者の方や保育士のハンドベル演奏を楽しみました。子どもたちにとって身近な存在であるパペットが舞台に登場すると、普段とは違う特別な雰囲気の中でも安心感を持ちながら興味津々な様子で演奏に参加する姿が見られました。

「見て」「触って」「感じて」きた日常の遊びが、行事という場面の中でも自然に広がり、子どもたちの会話や表現へとつながっていました。パペットを通して友だちや保護者と関わる中で、家庭や園での経験をもとにしたやりとりが多く聞かれ、一つひとつの言葉から子どもたちの育ちや成長を感じることができました。

普段何気なく使っている玩具であっても、子どもの感覚や主体性を大切にすることで、豊かな対話や遊びへと発展していくことを改めて実感しました。今後も、子どもたちの身近な環境を活かしながら、安心感の中で自己表現や対話が広がる保育を大切にしていきたいと思います。